

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和5年12月14日(木)
会議時間 13時45分開会 15時36分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委員：只野敏彦、川上均、中河つる子、深沼達生
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて
(2) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 13:45】

(1) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて

委員長（橋本晃明）：只今から議会運営委員会を開催する。今日の議件は、先般行われた議会報告会と町民との意見交換会のまとめの作業になる。お手元に資料があると思うが、アンケートについてまとめた結果、意見交換会の中でのグループディスカッションについて、その記録したものということになるが、説明をしていただいた後で、皆さんの方から付随するものとか、解釈だとかいったものを加えて意見交換会のまとめを作っていきたいと思う。まず、事務局から資料の説明を願う。

事務局長（大尾 智）：10月25日、26日に行い、なかなか事務局の方でまとめが遅くなってしまう申し訳なかったが、お配りしたアンケート結果の方からまず説明する。アンケート結果というのが3つあると思うが、全体版と清水と御影版に分けたものがある、合わせた全体版の方で細かく説明させていただきたいが、回答いただいた方が清水10名、御影11名であった。男女比、年齢比、それからどのように知ったか、2枚目にいっていただいて、議会報告会、意見交換会はどうでしたかということ、議会報告会の方はあまり細かい説明をしなかったせいもあるのか、どちらとも言えないという答えが多かったと思う。それから4番目、今回のグループディスカッション、意見交換どうでしたかということで、良かったという答えが概ね多かったと思う。それで、ここは記述式も書いていただいた。4ページ目を見ていただくと、4番の記述式の理由がある。そこで、少人数で話せて直接議員と話できて良かったと、いい意見交換ができたというところが多かったと思う。お一人だけ逆に意見が出しづらかったと記載された方もいらっしゃったけれども、概ねこの方式で意見が出しやすい、話しやすいというお答えが多かったと思う。それから、2ページに戻っていただいて、一番下の評価するというお答えも多かったと思う、17件あった。それから、議会だより、ホームページを見ているか、傍聴したことがあるかというところに繋がる。そして最後、期待することということで、ここは複数回答なので、数が多くなっているけれども、結構町民の対話という意見が多かったように思った。その期待することのところで、問9の個別意見が2件あったところである。10番目で、その他ご意見ご要望というところであるが、あまり具体的な意見、要望というのは書かれていないので、今回この形であれば他にも参加して欲しかったとかいうところもある。それなりに全

体通して今回のグループディスカッションのやり方は、概ね好評なやり方だったというように、まとめた私としては解釈をした。去年との比較の部分も若干お知らせしておく。1、2、3、4番のところ、去年はテーマはどうですかという問いであった。今年は意見交換方式、グループディスカッション方式はどうですかということで、ちょっと聞いている内容は違うけれども、先ほども お話したように、概ね良かったという回答が多かったと思う。そんなに去年と比べても変わったところはないけれども、ホームページをよく見ているという方が多かったと思う。あとは大体似かよった傾向というか、そんなに去年と今年で違いがあるというようには感じなかった。ここから先であるが、とりあえず議員の皆様にはまず目は通していただきたいと思う。

委員長：今までのアンケートの結果について皆さんの方から何かあれば出していただきたいと思う。アンケートの結果はそのまま受け取って良いという感じでよろしいか。あとは、グループディスカッションの方とも合わせて、全体的に振り返ってみるということで、結果としては参加された方にはすごく好評だったということは1つ言えると思う。それでは、次のグループディスカッションの結果について説明願う。

事務局長：今お配りしているもの、それぞれ各会場を当初6つに分ける予定であったが、参加者が少なかったということもあって、3つに合わせてやった。その中で、私の方で模造紙に貼られた付箋の部分が何件、何件と書いてあるところは、同じこと書いてある付箋をまとめたりしているけれども、その他については、だいたいそのまま書かれたことを書いている。あと私の方で色付きの部分で、項目立てしているところは、私が意見を見て、意見なりそれぞれ付箋を見てまとめたところである。そして、①②③のエリアが別れているけれども、あまり意味はないと思う、付箋がそこに貼られていたということで、具体的にそれぞれ認識、課題、解決策に分かれて貼っていただいているテーブルもあったのだろうというように思っているので、ここについては皆さんお時間とっていただいて、まずは目を通していただいて、その中でそれぞれ各議連の皆様、それぞれどこかのグループに所属されていたと思うので、私のまとめた認識でよろしいかというのをご確認いただければと思う。

委員長：それでは、グループAとD、Dは深沼議員、Aが私、Bが只野議員と中河議員で、Cは川上議員、自分が所属していたところの議論の中で、紙に書いたものを写真に撮って、それを事務局にまとめてもらったということなので、これをさらに意見の交換があって、深くなっている部分というのは、議連の皆さんから出していただければいいと思う。中身を見ていただいて、それで振り返っていただきたいと思うのでよろしく願います。では、休憩して読んでみていただきたいと思う。

暫時休憩する。

【休憩 13：55】

【再開 14：08】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。それでは皆さん一通り目を通されたと思うので、それぞれのグループで、まずは修正すべきようなところがあれば、まずご指摘いただきたいと思いますというが、いかがか。思い出せない部分もあろうかとは思いますが、細かいことであるが、グループAのところ、①テーマに関する現状認識で、議員定数現状が良いと2件とあるが、これはたぶん私が例としてこんなようにやってくださいというのが1枚入っているの、実際には皆さんから出た意見の中では1だったと思う。特に間違ったことがなければ、先へ進んで、事務局にまとめをとりあえず作っていただいている。主には意見というか、言葉の数をまとめたものと、フリートークの部分の出たものを分類しながら書いてもらった部分があるけれども、これを説明していただく。

事務局長：それでは、グループ協議のまとめA4が3枚である。今見ていただいた会場ごと、グループごとの部分で、具体的に多いとか少ないとかいうものがあつたものについては、件数として入れた。それで、委員長からお話しあつたように、テーマ1の議員定数の部分、現状でいい、8ではなくて7ぐらい、7なのかと思うので、具体的に多い現状と書いた部分は、このような数字であつた。総体で見ると、現状という方が10名ぐらい、あと、多いという方が6名ぐらいで、少ないという方は皆無だと思った。それから、個別の意見として出ていたのは、定数増やして報酬減でもいいのではないかみたいな部分があつたと思う。それから、減らした方がいいという方では、10人ぐらいでいいという意見が出ていたということで、全体としてという四角の中で、少ないという意見はほぼないだろうということである。あと、多いとか現状維持が両論あるという全体としてのまとめになると思った。それから、議員報酬の部分でいくと、こちらは多いというのが一件だけで、少ないと現状でいいというのが多くて、少ないという意見の中では、議員報酬だけではなかなか生活できないというか、若い人が議員に出られないということだと思ふけれども、そういう意見が多かつたように思った。それから、女性議員の登用については、圧倒的に増えた方がいいというご意見が多かつたと思う。個別としては5人ぐらいいてもいいのではないかとこのところ、あとは、女性議員という特別視はいかがなのかという部分、あとは、女性が出づら環境なのではないかという個別意見があつたと思う。それから、全体としてまとめるとすれば、現状より増えた方がいいという意見が大半で、あとは女性が出やすい環境整備をして欲しいという意見がまとめとしてできるというように思った。続いて2枚目、テーマ2の、開かれた議会である。こちらは、委員会中継やSNSの活用という

ことで、議論いただいたけれども、委員会中継云々というところ、あまり件数としては出てなかったけれども、2件ほど中継してほしいという話があった。その中で、それなりに設備等々かかるのだから金銭的な問題があるのだからかという話と、YouTubeで今やっているの、それなりに進んでいるのではないかという部分、あとは、逆にというのかわからないけれども、中継することによって、逆に深まった議論ができるのかどうかというところ。あとは、YouTubeとかSNS、やり方がわからないので教えて欲しいという意見もあった。全体としてまとめると、委員会中継をやってほしいという意見は多少であるがあったというところ、現状、アンケートでもあったけれども、あまり見ないという意見の方も多いため、どちらでもいいみたいなご意見もあったのだからと思う。あとは、一部休日ナイター議会をまたやってほしいと望む声も出ていたと思う。ここは私の個人的な感想から見ても、委員会中継をやってほしいというご意見はあるけれども、YouTubeもやっているし、遅れている、もっともっとという感じのご意見は少なかったという感じがした。テーマ3つ目、フリートークである。要望が多かった項目など全部の項目ではないが、一応、テーマ別みたいなもので分けて記載してみた。議会関係では傍聴席の聞こえが悪いというのは、すでに解決済みというのか、調整した。あと、議会基本条例を制定、あるいは議員はもっと催事等に参加したり、色々な現場を見るべきということであった。それから、議員の仕事がなかなか見えてこない、聞こえてこないというのは、私も議論の中に入っていたわけではないので、どんな感じのお話があったのかという部分である。あとはナイター議会復活、それから道外研修は任期の始めて、これも2年目でやっている。たまたま前回はコロナで最後になったということだけで、主に議員、議会関係にはこういったご意見だと思った。それから、町政に対して、まちづくりの関連ということで、なかなか町長への意見が通らない、予算付けされないというところは、どちらかというと、あれして欲しいこれして欲しいという町に対する要望がなかなか実現されないの、議員が代わりに言ってという、今までの意見交換会でも出ていたと思うけれども、そういった部分である。あと、意見交換の場がもっと欲しいということで、今回、直接議員と話しされたということで、アンケートでも良かったというご意見もあったので、もうちょっとこういう場が、ざっくりらんな部分含めて意見交換できる場があればいいということだと思う。それから、業務関係ということで、窓口業務のDX化とか、シルバー人材センターの人材不足、町内会、生活関連では、町内会長の話だと思うけれども、加入者が減っている、配布物が多い、高齢化している、それに伴ってゴミの関係や除雪とか、空き地の雑草とか困っているということで、これもどちらかというと町へ色々話するけれども、解決されないという意味が込められていたと思う。パークゴルフ関連では、コースの一括管理とか公認コースを設置という話が出ていた。フロイド看板、これもいろいろ議会での質問含めて、ずっと出ている話なので、こちらもなかなか町長への意見が通らないという部分からの関連なのだろうという感じ

がした。それから商工観光関係では、やはり展望台の部分とか、民間キャンプ場が4カ所できているが、これも多分色々そういう現状を知ってほしいということだと思う。物価対策、商品券事業ということで、これはちょっと付箋だけ見てわからないけれども、そういうのをもっとやってほしいというのか評価している、していないという話だったと、議員の皆さん直接聞かれたのでその辺お分かりかと思うけれども、子育て関連ということでいけば、子育て世帯に住みやすいまちづくり、これもどちらかという細かい話だが、御影の小中学校体育館が雨漏りしているという話、あとイベント関係、花火大会が短かった、これはたぶん清水会場、15分ぐらいで終わったそうなので、業務委託関連では、買い物バス、ゴミ収集の委託でドライバー不足や社協の委託先の業務が厳しいということである。それで全体としてまとめると、それぞれ所属の団体や会社の代表者として参加されているので、そういう方がかなりいらっしまったので、それぞれの要望が出ていると思う。シルバーの人材の方とか、委託バスの関係では社会福祉協議会の会長もいらっしまったし、ゴミ収集の関係では清水運送の社長もいらっしまったので、それぞれご自分の利害関係で要望が出ていると思う。あとは理事者や町長、直接対話を望む声ということで、地域別の町懇とかをやっているけれども、話を聞いてほしいと、ただこれは話を聞くだけではなくて、聞いてやってほしいという前提なのだろうと思うけれども、そういう話が多かったと思う。これは今回のグループ討議だけに限らないと思うが、人口減や高齢化に伴う町の担い手不足とか、働き手不足を危惧しているという話が多かったのではないかというように思う。以上が私の主観というか、特にグループトークの中に私は入っていないので、付箋を見てまとめただけなので、ニュアンスとか、本当はこういうこと言いたいのだというようなところがうまくわからないので、こういうようにまとめてみたが、議員の皆さんのご意見いただいてと思う。

委員長：今、全体をまとめてみたということで説明を受けたが、こういうようになってくると、自分のところと比べてそんなではなかったと出てくると思うので、皆さんの方からも出していただきたいのと、先ほどのところで、言葉だけ拾って、中身がどうだったのだろうというのはあるので、そこはそれぞれの班に属していた方から、そこについての話をいただければと思う。まず、私の班のところから言うと、議員定数についてわからないというような、わからないというところとすごく消極的な意見のように見えるけれども、わからないという部分が強く出されていて、その妥当性というのはいきなり言われてもわからないと、報酬についてもそうだけれども、そこは実際その議員活動している中で、議員はどうなのだろうという問いかけが逆にあった部分でもある。開かれた議会の部分では、委員会中継という具体的なものを出したので、やって欲しいという声が2つほどあったかもしれないが、全体的にはあまりこういうものに振り回されない方が良いという意見も、紙はないが意見としては出ていた。あと皆さんの方から気づいた点あるか。

深沼委員：フリートークの部分で自分が関わっている除雪の部分とかの意見があったというのと、議員との会話という部分で、直接会話することがほとんどない中で、そういう部分を強調して言っていた人もいた、議員と一緒に話すことが良かったと、だからその部分は結構重要だと、これからも。

委員長：次にBとE。

只野委員：BとEは私と中河委員だけれども、私が前半のところを担当して、後半というか3つテーマだったと思うけれども、2つ目からは中河委員にファシリテーターを後半の2つやってもらうというやり方で清水御影をやった。最初のテーマ、少ないけれども、どちらも不慣れだったということもあり、こちらも不慣れで皆さんも不慣れで、なかなか初めのところは活発な意見が出ないけれども、とにかく清水の人は自分の喋りたいことがあって、フリートークの方がすごく多かったような感じがして、フリートークになると結構話も出てきたというところで、それを言いたい、前年度と同じ感じでの思いで来ているという感じも多少あったけれども、御影に関しては、こちらも少し慣れたというのもあって、テーマに沿って割と色々な意見が出てきたので、これは本当に各自バラバラの感じである、最初のとことか、私が思ったのは、先程川上委員が御用聞き的なという話をされていたが、そこを解決していかなくてはならないのかどうなのかと思って聞いていた。フロイデの看板の撤去と、あと、うちの班では小学校、中学校の雨漏り、それ本当に大事なことになるだろうけれども、我々の中でこうします、ああしますということは、今回、自分の意見も言えないというところで、なかなか回答もしづらい、ただ、そういったことを言いたくて来ているというのものもあるし、御影のように大磯町の話を出したりとか、調べてこのテーマで話したいということである町民もいたので、そこに対して我々は意見を言う立場ではないので、すくい上げて載せていくという感じでやってきた。

委員長：花火が短かったというのはこの班か。

只野委員：花火はこの班。言いたいことを言いに来ている人が多いから、そういう意見が出た。

委員長：御影は楽しめると書いてある。

只野委員：今年の清水は天候も悪かったし、場所も変わって色々何かあったのではと思う感じがする。端的に言えば短いと。

委員長：行政への要望が多く出された班だったと、清水会場は。

中河委員：私が印象にあるのは、清水ではYouTubeの見方とか、使い方を教えてもらいたいという意見があった。私も前に言っていたけれども、そういうのがあったのと、何か来ている方がやっぱり町政に関心持っている人だという感じで、フロイデのこととか色々言っていたし、一般の人というよりは、会の代表の人が来ているから、そういうような見方をしているのだろうが、ここに出ていた、そういう中で特徴というよりは、自分の意見を持っている人が来ているから、自分の意見をきちんとこの場で言ったという感じが強かった気がする。

委員長：次にCとF、川上委員。

川上委員：CとFというよりは、まずは今回の意見交換会は、とにかく町民と、参加した人と、自由に意見を交わそうということが目的だったので、そういう部分ではなかなかこのお互い言いつ放しという形のもので終わったということでは、ちょっと従来のやり方の報告書を作るのは難しいと思っている。テーマの中で多かったのは、御影も清水もそうだけれども、議員定数や報酬に関しては、ちゃんと議員同士きちんと話した中でこういう結果になったけどどうかと聞くのはいいけれども、ただそれだけを言われても、現状がどうなっているかわからないと言われるのが御影でも清水でもほとんどだった。女性議員の登用については、女性だけでなく、議員の資質で考えれば、男女関係ないのではないかというのも清水、御影会場とも多く言われた感じだと思っている。それは理解するとかしないとかということではなくて、理解はされているけれども、本来の議論ではないのではないかとと言われて、あとは事業所の代表の方も多いので、そういった部分の問題提起というか、それぞれについてはちょっと出されていたので、それについてはどうのこうの言えないので、一応話を聞いたという中で終わっているような状況である。非常にこれ報告書としてまとめるのは、今までは聞いてそれに対して回答するというのがほとんどだったので、どういうようにまとめるかちょっと難しいとは思っている。

委員長：商品券の話が出たのはこちらの御影会場、議長にも伺ってよろしいか。

山下議長：議員定数とか報酬については、議会で示したものがどうか、それを中身も実際わからないので、判断はしづらいという声が多かった。女性の登用については、多いのが望ましいけれども、出やすい雰囲気は議会だけではなくて全体で、社会でも同じという感じで話されていた気がする。それから、開かれた議会については、なんとなくピンときていない感じはした。それで思いつくことを話していたという部分が多かったと思うけれども、支所にいった時には、支所でもテレビ中

継があったらいいなという部分はあった。清水には役場のロビーにあるので、支所にテレビがあって中継されるといいという話はされていた。あと、フリートークの中では、それぞれの代表者の方も現状について話されていたという部分が多いと思う。そういった部分では、運送業だとか社会福祉協議会だとか、また御影の方では、パークゴルフ場の関係者のところが委託して、その話をされていたという感じである。今回の主旨がそれぞれの町民の方がどう考えているのかを聞こうと言うのが前提だったので、これをどうまとめて発信するかという部分については検討の余地があるという部分が終わってみて感じたところである。

事務局長：実は各団体、それこそ色々な団体へ案内している。それを受けると、真面目な方と言ったら怒られるが、商工会の青年部の方とかも来てくれていて、真面目な方はそれをこちらからの案内を受けて来ていただいている。いわゆるスポーツ団体、教育団体、各種女性団体とかに出しているのだから真面目な皆さんは行かなくてはこの感じに来ていただいたので、ただ、どうしてもそこで何かありませんかと言われると、ご自分の利害関係と言っていいのかわからないけれども、その部分での要望、特に先程、社会福祉協議会のお話もされていたけれども、困っている状況を訴えられているというのがあるので、なかなかその一般の方の普段出てこない意見を拾い上げるというのは、本当に難しいというように今回も感じた。これからまとめになるが、今までのやり方でもいいし、今回のグループディスカッションのやり方も別に間違っていないわけではないと私は解釈しているが、ただ、12、13の部分はこうやってその後処理するというように書いてある。そして13の部分でいけば、議会だより等で公表すると書いてあるので、さっき川上委員は今回のをどうやってまとめるか、去年まではこちらからも議会側からも代表が話して、質問者も一人一問一答方式でやっていたので、全て議会と同じように録音していた。そのやり取りで一字一句起こしてやっていたので、これは誰が何についてした話で、例えば町政の要望だとか、議会の要望だとか、その他だとかいうのがはっきり分かりやすかった。それで、そこから各所管委員会に分けて、検討して、今後こうしていこうというのを回答できるものは回答を作る。それで、必要なもの、これは町政への要望だという部分は町に対してこういう要望があったということを町に求めるというようなことでやっていた。それをやるためには今までのやり方でないと、なかなかまとまらないので、ただ今回のこのやり方になると、去年までのまとめ方はできないから、どういう形でまとめようかというのを、議運の皆さんの中で検討して、今日出したものに肉付けする形でもうちょっと文章化して、箇条書きではなくて文章化するような方向で作って、それを例えば議員で共有するのと、所管の委員会に回して調査するというのもどうかわからないけれども、そこまでやるかどうか、後は議運の中では今後の議会活性化の議論として活かしていくというまとめ方になると思うけれども、昨年までのようなやり方、報告書の作り方はちょっと難しいと思うので、そ

かをどうしていくかお話いただければと思う。

委員長：この結果報告については、どのような形で報告書を作成するかということ、あと、全議員でこれを共有するという事になれば、全員協議会を開催するのか、議会だよりの2月15日の掲載にどういう形になるのかということ。

事務局長：前段の広報広聴委員会でも話が出ていた、次号の2ページくらいを使ってという話も出ていたけれども、最終的にはこちらから載せるから早くまとめてという話ではなくて、先に議運ありき、全員協議会ありきで、そこでまとまったものができたらそれを載せるという流れなので、絶対今度の議会だよりにということではないけれども、ただ、それを逃すと年度またいでしまう、今までは5月ぐらいにやって、だいたい10月ぐらいまでかかってまとめて、春にやって5月にやって11月発行の広報とか、そのぐらい時間かけてやっていた、さっきの流れを順次やって、ただ今回、1年半ぐらい経ったところでようやくこういう形で簡単なまとめができたところなので、逆にここから1ヶ月の間でどこまで作るかというところで、しかも先程私がお話したように、今までみたいな発言者の一字一句記録しているわけではないので、今までみたいな報告書は作れないという中で、どうしていくかということをお話いただいている。スケジュール的にはできれば、もし次の議会だよりに載せるということで、ある程度まとめてそれを議員に共有していただく、委員会の中で揉むという作業をやるとなると、もう絶対無理なので、そういう作業はしないで全員協議会で協議調整するという部分をやるという事になれば、例えば年内にある程度のものを作って、年明けすぐぐらいに全員協議会にかけて、その間一度委員会で見ってもらうという手もはあると思うけれども、そういうスケジュールで行かざるを得ないと思っている。私が勝手に喋っているだけなので、全然違う方法でもあり得ると思う。

川上委員：なかなか難しいけれども、せっかく今事務局でまとめて、3ページで作っていただいたので、まとめのテーマ1と2の部分についてはこのままでいいと思う。フリースペースの部分で要望等があるので、これに若干肉付けしてもらって、やはり委員会に分けられるものは分けて、共通するのは共通で1回委員会で中身についてどうだという議論をした方がいいと思う。そういった中で、ひょっとしたら町政につなげた方が、要望として出した方がいいという中身も多分出てくると思う。だから1回そういう整理をして、それからちょっとまたまとめて全員協議会の中でやった方が、また勝手にやっているということも言われるし、ちょっと時間はかかるけれども、合わせて今回のやり方についての色々な課題なども含めて、それぞれに委員会で揉んでもらった方がいいと思う。そういうような方法で進めるのが一番いいと私は思う。

委員長：日程的にはかなり色々集まったりが多くなるかもしれないが、せっかくやったので、議員も全員入っているの、議運のメンバーだけでまとめたのではなく、そういうところからもこの意見を強調したらいいとか、そういうものが出てくれば反映させていけたらいいと思う。いつかやろうと思っても進まないの、無理矢理集まってもらってやるような形が必要になる。あと、出た意見で行政の仕事だという部分を行政に振ってということだけではなくて、町づくり懇談会にも来ているような方々であっても、この議会報告会に来ているという方も多と思うので、色々な要望というのも議員としても共有させてもらった上で、その議会活動につなげて行くか行かないかという差はあるかもしれないけれども、議員の認識という上でも押さえたという部分は必要だと思う。これは町の仕事というのではなく、町民の議論として拾っていくべきものはあったというようなことで書いたらいいのではないかと思う。皆さんの方から進め方について、まとめ方について意見があれば。

川上委員：先程の意見から補足するわけではないけれども、これを見ていた時に、例えば御影小中の体育館の雨漏りだとかと言うのであれば、これは厚生文教常任委員会の中で、行政の方に要望した方がいいのではないかという中身になると思う。それ以外でうちと関係しない、両方の委員会に関係する仕分けできない部分については、それぞれの委員会の中で意見を出してもらって、どのように進めたらいいかというのを議論してもらって、まとめていくという方法でいいと私は思うが。

委員長：日程、スケジュールを作るのが一番の仕事みたいになってくると思うので。

事務局長：年内に委員会の開催までは約束できないので、年明けにやって。

委員長：逆算していった場合、広報に載せるとすれば、いつその原稿を作ればいいのか。

事務局長：今日の議論からいって、議会報告会のまとめは間に合いそうにないと言うのであれば仕方ない。今回は一般質問が多かったの、紙面的には足りないという事はないと思うが、例えば色々な案件もあつたりしたので、それを取り上げるという話で特集はできると思う。

委員長：やっつけで載せてしまうよりは。

事務局長：私も1週間、2週間で形にするという約束ができないので、そうすると年明けで1回やって、それから各委員会開いていただいて、最終的に全員協議会で報告書OKとなるところに、うまく議会だよりのスケジュールを合わせるのはちょっと難しいと思っている。

山下議長：今までの発行状況からみても、二定例会終わって三定例会手前で出しているから、5月頃発行してもいつものスケジュールと同じ流れだということも説明できる。

事務局長：今回新しいやり方をしたので、なかなか良かったと思っている議員もいれば、今までで良かったのではという議員もいるので、あまり早急に今回こういうやり方して、アンケートではいい意見がありましたみたいなことを簡単にまとめると、それに対する反発もあったりするのではないかと、来年以降のところにも影響してくるのではと、そこをちょっと丁寧にやった方がいい気もする。

委員長：方法を変えたことで、それについても書かなければならないということも考えれば、ちょっとボリュームも考えなければならぬので。

事務局長：どんなやり方しても皆さんの色々な意見を取るのには難しく、全世帯アンケートやったところで、出ていない意見を吸い上げろという話になるだろうから、なかなか難しい。できるだけ早め早めにやる。

委員長：載せる時期の問題もあるのかもしれないけれども、記憶にあるうちに物事進めていかないと、作り事が多くなってしまっても良くないので。

事務局長：私も今日の会議を忘れないうちにやって、年明け早めに委員長、副委員長にまずは相談して、次の流れを作りたいと思うのでちょっとお時間いただきたい。

只野委員：町民の方から、これが終わった後に、A班の深沼委員の意見が良かったと言われて、除雪のことにに関して農機具を使うのか農作業車を使うのか、私は聞いていないので、委員会があった時に聞いてみると言ったのだが、どんな話で実現可能な話なのか。

委員長：ちょっと外れるかもしれないけれども、要点だけお願いして細かい話は後で。

深沼委員：単純に言えば、冬場だから、畑屋さんはショベル持っていたり、ダンプだっている中で、除排雪するのにそういった人を募集すれば、何もやってない人も実際いるので、そういった形でやれば、私的には縛りがあると思っていた。そんなに大変だったらそういうのもあるのにと行って言っただけである。

委員長：よろしいか、実際にやるとなれば法的な問題があるとか、保険はどうするとか色々な話が出てくると思うので。そういう話があったということで。それでは、とり

あえず進め方としては、中身をもう少し重視して全員で話しした中で進めてまとめていく、それで、5月の議会だよりに掲載できるようにする方向で 日程を組んでいくというところによろしいか。

(「はい」との声あり)

山下議長：振り分けする中で、テーマの1、2については議運の関係だけれども、フリートークの部分をどう分けて行くかという部分では、議運としてフリートークの中を委員会に振り分ける部分と、全体の部分で区分していった方が、その区分作業が年内にどこかでやるか今やるか。

委員長：どこの所管になるか事務局で分けてもらって。

事務局長：私が分けて、委員長に確認してもらって、議運の中で分けたという事でいいのではないか。

委員長：それでは、それも含めて日程がいつ頃までにというのが出たら、皆さんの方にメールする形でお知らせして進めていきたいと思う。

事務局長：1月にもしかすると臨時会があるかもしれないという話があったので、詳しい日程等聞いていないけれども、もしあるとすれば全員協議会もあるので、そういう機会があれば終了後にやったりできると思う。

委員長：機会を逃さずに開催していく。それでは、意見交換会についてのまとめはこれによろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：その他であるが、今日の本会議で勉強不足だったのか、ちょっと確認したいと思ったことがあって、質疑の回数であるが、議長も一瞬戸惑っていたけれども、川上議員の質疑の中で、6項目あるということで、それぞれ2問であったり3回までいった質疑もあったけれども、1つの項目について3回までというところは理解していたけれども、1つの議案の中で何個まで項目を設定できるのかという部分だとか、鈴木議員の質疑で、2項目という宣言をした後で、3回終わってまだ質疑が足りない部分を2回目の質疑をすと言って同じテーマであと3回聞いているというのが、果たして1項目3回までという部分に合致しているのかどうかを共有しないと、今後の質疑の仕方、テクニックという部分だけではないかもしれないので確認したいと思っている。

事務局長：会議始まる前に委員長からそういう話されたので、決まりの部分を変更してお配りする。会議規則と運用例で、会議規則の第54条で、質疑は同一議員につき同一の議題について3回を超えることができないとなっている。ただし、特に議長の許可を得た時はこの限りでない。それから運用例というのがあるが、こちらの方では52のところ、質疑は一問一答で行い質疑の回数は、質疑の項目ごとに会議規則の定める回数とする。3回であるというようになっている。それで、一般的な解釈を申し上げると、会議規則の1つの議題となると、例えば補正予算で上がればその補正予算について全体で3回になる。1つの議題である。書いてある言葉、同一の議題となると、何々会計補正予算というのが1個の議題であり、その補正予算の中で3回しか質問できない。しかも一括議題にしたら一括で3回しかできないので、運用例では項目という言葉が出てきて、これをどうのように解釈するかである。

川上委員：これはやはり一つの議案に対して、審議を深めるということが一番大事だと思う。そういう部分で同一議題に対して3回までというのはわかるけれども、そういう部分では、3回では求める質問に対して的確に回答してくれればいいが、求める質問に対して同じような答えが3回返ってきたら、それ以上質問できないということになってしまう、だから、審議を深めるという部分では、運用例にあるとおり、それで運用例を私は使わせてもらって、あらかじめ項目を言って、それぞれの項目で3つということで質問させてもらっている。

事務局長：項目という線引きが難しいという部分があるが、例えば項目100個ありますというのはOKなのかという話になる。明文化されていないと困るので、どこかで線を引かないと、例えば2時間でも3時間でも許されるのかという話になる。それは常識の範囲内というけれども、どこかで線引きが必要なのだろうから、この項目ごとという項目の部分、例えば補正予算で費目がいいのか、款項目で言ったら目なのか節なのかわからないけれども、この部分を1個の項目というように捉えるとか、そういうようなことかと思う。ただ、そういうようになると、例えば条例改正となると、条例改正を細かい項目に分けることもできないというところがあるので、申し合わせではないが議員で再度その辺をどう解釈されるかというのをやった方がいいかもしれない。

委員長：このとおり解釈して狭くしてしまうと、本当に3回して終わりという昔の議会に戻ってしまうという気もするし、芽室町に勉強会で行った時には、会派はないのだろうと思うけれども、ある程度事前に調整というか話し合いをしていたのかもしれないけれども、他の議員が質疑足りない部分は補っていくような形で、次々質疑していくというようなことも聞いていた。3回で終わってしまうので次の議

員がと、それが果たしてうちの議会に合うのかどうかはわからないけれども、先程川上委員の中で、答弁がちゃんと答えていないという場合は、前の時も議長が執行部について答えるようにと言って、4回許していたことがあったと思う。ただ、1回整理しておかないと、最初に何項目あると言って、そこから入る時にたくさん何項目と言っておいて、答弁得られたので残りはいいみたいな形にすると、3回じゃなくて5回、6回と同じことになるので、それであれば5回にしてしまおうとか、あるいは回数の制限は時間で切って回数はやめてしまおうとか、色々なやり方というものも出てくると思うけれども、会議規則が法的な根拠としてあるのであれば、そこから外れることができるかできないかも含めて、整理しておく必要があると思ったのでお諮りしている。

事務局：但し書きの部分は委員長が言われたことだと思う。議論が噛み合ってちゃんと答弁がされていないような時は、議長が4回目だけれどもいいというようなことにするための但し書きなのではないかと思う。

委員長：あと、一問一答ではなくて3回ということになれば、1つの質疑の中で2つ3つ聞くという形の中で、答弁漏れがないかチェックするという方法もあるのかもしれない。一度質疑の仕方については確認したいと思っている。

山下議長：運用例の中での質疑の項目ごとに会議規則の定める回数、その項目ごとに3回という形になるのだけれども、その項目がこの中では、その範囲という部分が曖昧なところがあるので、この項目の扱い方という部分を次の定例会まで議運の中で、どういった項目でという部分を話し合いしてもらえればと思う。抜本的な改正については議会改革を今やっているのだから、そういった中で5回にするだとか、そういった話も出てくるだろうけれども、それはまた別な部分として後で一括して議会の活性化の部分で考えていくということにして、とりあえずは議会の活性化部分がまとまる前までは、運用例の中の質疑の項目について、申し訳ないが議運の中で諮ってもらえればと思う。

委員長：これは定例会まで何回か集まる機会があると思うので、その時まで少し色々調べたり勉強したりしながら、議論が深まりながら分かりやすく簡潔な議会が進められるようにということで。

事務局：会議規則の1つの議題に3回というのは、今日だったら5本一括議題にしている。そこで全体で3回しかできないとなるので、これは実用的ではなくて運用例があるので、ただ項目をどう捉えるか、3回終わって項目変えると言っても質問が変わっているだけで、同じ項目なのかとを感じる部分もあったりするので、そこを項目変わっているかとならないように、その項目というところはこれだというの

が上がってくればすっきりするのではないかと思う。

委員長：この件についてはよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：他に皆さんから何かあれば。

川上委員：議会モニターから、確かもう1回やると聞いていたけれどもやらないのかと、年末までにとこの話をしていたけれども、議論していないと思って。

事務局長：モニター会議は、年2回の予定で年度内にもう一度やるということを前回お話しているの、3月入るとまた忙しくなるので、2月中ぐらいにやりたいと私は考えていたと言いながら、準備はまだで、中身としては前回と同じように集まっていたら、その後9月、12月議会とあったので、そこで感じたことという形で、やり方としては同じようなやり方でいいと思うが。2月20日ぐらいまでに、まずは皆さんの中でだめな日があればあらかじめお聞きしておく。調整次第また連絡する。

委員長：他にあるか。

只野委員：あと1か月ちょっとで私も1年経つけれども、3月、6月、9月、12月と定例会やって来て、答弁書というのは質問する人には来るけれども他には来ない。あれは全員にとはならないのかと思うけれども。

川上委員：それも含めて、答弁書が今一般質問する当日の朝しか来ないので、できたら2日か3日前に来てもらった方が再質問を作りやすい、だからそれも議運で決めた中身である、今まで答弁書なかったとか、それをとりあえず当日までには作ってもらうという話は議運で決めたので、これ議運の中で議論して、方向性 決まればそういう話していいと思う。

委員長：かつて私がやっていた頃は、答弁書を出すと学芸会と言われた頃だったので、ないのが当たり前であったが、実際に今は答弁書を出してもらっているというスタートなので、どういう判断したらいいのか今考え中であるが。

中河委員：この間、私の質問の後知らない人が、答弁書は早くもらっているのかと、答弁を擦り合わせているのかと聞かれたから、そんなことはしていないという話をしたことがあった。

深沼委員：早くもらえるものならもらえた方がいいけれども、ただこれ執行側にも聞いてみないとわからない部分あると思う。全員にまで配る必要があるのかどうか、一般質問に対してその人に答弁だから。

只野委員：4回定例会で一般質問させてもらったけれども、質問しない人もいる。質問しない時に議員が言っていることとか、町長側が言っていることとかわからない時がある。それがあって見ていたら、自分の関係ない時にもその話を一緒になって見られるというのと、一緒になって考えるという方がいいのではないか、そこをまずクリアするのが最初なのではないかというように思う。

委員長：答弁書がないというのが基本だと思う。すり合わせしているのかと言われたという部分も、シナリオ作ってみたいな話に近いので、議論深めるというのは、そういうことではなくて、議論しながら深めていくという、紙で書いてまとめるから深まるというわけではないと思う。

川上委員：そういう話になったらちょっとおかしくなる、今までの議運の中で決まっている中身だから、これは勝手にそんなことは言えないので、これはきちんと議会の活性化の中で議論する中身だから、ここでどうのこうのではなくて、そのテーマとして、今問題提起として受け止めて、議会活性化の議論の中で答弁書の扱いについても皆で議論していくという方法でいいと思う。

委員長：町民に開かれた議会とか公開された議会という中で、そういうことも含めて改めて進めていきたいと思う。他になければ、本日の議会運営委員会を終了する。

【閉会 15：36】